

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスほーぷふる		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月25日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども自身と関わる中で、子どもの抱える特性や考え方、相手の言葉の受け取り方等、保護者様が抱える学校への思いやお願いしたい事を理解したうえで、各関係機関に協力を仰ぎ一日でも早く安心して学校生活を送れるよう支援しております	・学校と保護者様のかけ橋となり、保護者様も子ども自身も安心して学校生活を楽しめるような支援を心がけております ・なぜ、学校等の集団生活において課題行動が出るのか？原因から探り、子ども自身の思いを引き出しながら学校と保護者様と綿密に情報共有し、お互いが歩み寄れるよう調整しながら子どもが集団生活へなじめるよう支援しております	・まだまだ認知度が薄い制度ですが、関わる学校や先生方へ「保育所等訪問」と言う制度を伝え経験していただく事で、「保育所等訪問支援」を必要とする保護者様や児童が一日でも早く学校生活を楽しめるよう支援していきたいと思っております
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校や先生方によって「保育所等訪問支援」の訪問支援員が来るから対象児童への授業中の声掛けや、本児が戸惑った点等も全て訪問支援員が対応してくれる。という誤解を外せなかったこと	・「保育所等訪問支援」の制度について学校や先生方だけではなく、相談支援員や、公的機関の担当者の方々にも認知度が薄い制度であること	・「保育所等訪問支援」を通し、多くの方々に制度を理解してもらうとともに、訪問支援員として、保護者様、児童本人、学校、関係機関と全体を網羅できる技能を持つ人材を育成していきたい